

平成26年第4回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成26年6月17日（第9日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	川崎一平	10番	秀島和善
2番	前田弘次郎	11番	井崎好信
3番	溝口誠	12番	大串弘昭
4番	大串武次	13番	内野さよ子
5番	吉岡英允	14番	西山清則
6番	片渕彰	15番	岩永英毅
7番	草場祥則	16番	溝上良夫
8番	片渕栄二郎	17番	久原房義
9番	久原久男	18番	白武悟

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	杉原忍
教育長	江口武好	総務課長	百武和義
企画財政課長	片渕克也	税務課長	吉原拓海
住民課長	渕上隆文	保健福祉課長	堤正久
長寿社会課長	片渕敏久	生活環境課長	門田藤信
水道課長	荒木安雄	下水道課長	赤坂和俊
産業課長	赤坂隆義	農村整備課長	嶋江政喜
建設課長	岩永康博	会計管理者	岩永信秀
学校教育課長	本山隆也	生涯学習課長	小川豊年
農業委員会事務局長	一ノ瀬美佐子		

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	鶴崎俊昭
議事係長	久原雅紀
議事係書記	片渕英昭

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

12番	大串弘昭	13番	内野さよ子
-----	------	-----	-------

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 発議第5号 教育予算の拡充を求める意見書について

日程第3 推薦第1号 農業委員会の議会推薦について

日程第4 常任委員会の閉会中における所管事務調査

9時30分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、大串弘昭議員、内野さよ子議員の両名を指名いたします。

日程第2

○白武 悟議長

日程第2、発議第5号「教育予算の拡充を求める意見書について」を議題とします。事務局に意見書案を朗読させます。

○鶴崎俊昭議会議務局長

意見書案を朗読いたします。

教育予算の拡充を求める意見書（案）。

2011年度政府予算の成立によって小学校1年生の35人以下学級を実現するために必要な改正義務標準法が施行されることになった。今回の義務標準法改正条文の附則には、公立の小学校2年生から中学校3年生までの学級編制標準を順次に改定すること、その他の措置を講ずることについて検討を行うことが求められており、それらに必要な安定した財源の確保に努めることも明記されている。このことから今後全学年における35人以下学級を早急に着実に実行することは国としての大きな責務であるとする。また、子供たちが全国どこに住んでいても、どのような環境に育っていても一定水準の教育を受けられるという教育の機会均等は憲法、教育基本法にもうたわれた自明の権利である。しかしながら、我が国のGDPに占める教育費、公財政支出の割合はOECD加盟国31カ国の中において最下位であり、教育に対する公財政支出が国際的にも低いと言わざるを得ない。そして、そのしわ寄せが国民の家計を大きく圧迫しており、親の経済力の違いによる教育格差の問題ともなっている。さらに、地

方自治体財源においても義務教育費国庫負担制度の国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられたことで多くの地方自治体が財政的な圧迫、制約を受け、自治体間格差の広がりが懸念されていることは言うまでもない。将来を担い社会の基盤づくりにつながる子供たちへの教育は極めて重要であり、未来への先行投資として子供や若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成創出から雇用、就業の拡大につなげる必要があることから、下記の事項について強く要望する。

記。1、小学校2年生から中学校3年生における35人以下学級を早急に実現すること。さらに、より豊かな教育環境を整備するために35人以下からさらに踏み込んだ施策を計画、実施すること。

2、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月17日。佐賀県白石町議会。

衆議院議長伊吹文明様、以下様を略します、参議院議長山崎正昭、内閣総理大臣安倍晋三、総務大臣新藤義孝、財務大臣麻生太郎、文部科学大臣下村博文。

以上です。

○白武 悟議長

趣旨説明を求めます。

○内野さよ子議員

おはようございます。

教育予算の拡充を求める意見書ということで趣旨説明をいたします。

社会状況等の変化により学校は一人一人の子供に対するきめ細かな対応が必要となっています。また、新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加をしています。日本語指導などを必要とする子供たちや障がいのある子供たちへの対応等も課題となっています。また、いじめ、不登校等、生徒指導の課題も深刻化しています。こうしたことの解決に向けて計画的な定数改善が必要と考えています。そのため子供や若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成創出から雇用、就業の拡大につながるより豊かな教育環境を整備し、義務教育費国庫負担制度を堅持することを強く要請をいたしということで、よって会議規則第13条第2項の規定により意見書を提出いたしたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

発議第5号につきましては、全員賛成による提出であり、内容等も判明しておりますので、質疑、討論を省略することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認め、質疑、討論を省略することに決定いたしました。

これより発議第5号「教育予算の拡充を求める意見書について」採決をいたします。

お諮りします。

発議第5号は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、発議第5号は原案のとおり可決されました。

日程第3

○白武 悟議長

日程第3、推薦第1号「農業委員会委員の議会推薦について」を議題とします。
事務局に推薦案を朗読させ、説明にかえます。

○鶴崎俊昭議会事務局長

推薦第1号「農業委員会委員の議会推薦について」。

農業委員会等に関する法律第12条第2号の規定により、学識経験を有する農業委員会委員に次の者を推薦する。

平成26年6月17日提出。白石町議会議長白武悟。

記。住所、氏名。白石町大字馬洗530番地1、内野さよ子。白石町大字築切1813番地、小野愛子。白石町大字福富277番地、久原菊恵。白石町大字牛屋929番地、井崎陽子。

以上です。

○白武 悟議長

お諮りします。

議会推薦の農業委員会委員は4人とし、内野さよ子氏、小野愛子氏、久原菊恵氏、井崎陽子氏、以上の方を推薦したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、議会推薦の農業委員会委員は4人とし、内野さよ子氏、小野愛子氏、久原菊恵氏、井崎陽子氏、以上の方を推薦することに決定しました。

日程第4

○白武 悟議長

日程第4、常任委員会の閉会中における所管事務調査を議題とします。

会議規則第72条の規定によりお手元に配付しておりますとおり各常任委員長から閉会中の継続審査について申し出がっております。本件について各常任委員長から報告をお願いします。

○久原房義総務常任委員長

総務常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について説明をいたします。

本総務委員会につきましては、議会活性化についての調査研究を実施いたす予定でございます。

なお、議会改革特別委員会との合同によりまして議員定数の適正化を含めて議会活

性化についての調査研究をいたしたいと思っております。

期間につきましては、次期議会の定例会開会の前日までということでございます。よろしくお願いたします。

○内野さよ子文教厚生常任委員長

失礼します。

閉会中の継続調査の申し出をいたします。

本委員会は所管事務のうち下記の事件について閉会中の継続調査をいたしたいと決定いたしますので、会議規則第72条の規定により申し出をいたします。

内容につきましては、青少年育成への取り組みということで、不登校、子育て支援についての研修をいたしたいと思っております。

期間につきましては、次期議会定例会開会の前日までということで7月を予定しております。よろしくお願いたします。

○大串弘昭産業建設常任委員長

それでは、産業建設常任委員会からの閉会中の継続調査申し出を行います。

産業建設常任委員会からは、今回は4点について所管事務調査をさせていただきます。

1点目は、建設課所管の中・長期の道路網整備についてであります。今日の白石町は町道だけでも総延長は430キロを超えております。今後このような膨大な道路延長整備管理はどのように進めていくのか、この辺についてのお尋ねをいたします。

2点目は、産業課所管の今年度の白石町の減反、転作の取り組みについてであります。転作率あるいは転作物はどの面積、それにかかわる交付金の内訳等を賜りたいと思います。

3点目は、下水道課所管の公共下水道、特に特環についてでございます。事業期間は20年間にも及ぶものであります。今後の工程表、推進方法等をお聞きいたしたいと思っております。

最後に4点目ですけれども、農村整備課所管の新有明漁港新設工事についてであります。これにつきましては、現場のほうに入り調査をさせていただきたいと思っております。

担当課においては大変御迷惑をおかけすると思っておりますが、御協力のほどよろしくお願いたします。

期間といたしましては、次期議会定例会開会の前日までということにしております。よろしくお願いたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調

査とすることに決定いたしました。

以上で本定例会に付された案件は全て終了いたしました。

会議を閉じます前に町長より挨拶があります。

○田島健一町長

平成26年6月定例議会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

今議会におきましては、議員の皆様方に提案いたしました議案では十分御審議をいただきまして原案どおり可決いただきましたこと、まずもってありがたく厚くお礼を申し上げます。一般質問や議案審議の中においていろいろと御意見を賜りました。御意見を十分意に介してこれからの町政執行に反映させていく所存でございます。どうぞ今後とも御指導、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

ところで、5月8日に日本創成会議・人口減少問題検討分科会が全国の多くの自治体に衝撃を与えるようなショッキングな人口の将来予測を発表されました。この中では子供を産む中心の年代である若年女性の数を試算、消滅可能性都市などを市町村別に明らかにされております。また、いろいろな提言もなされております。本町につきましても厳しい状況でございます。2040年に若年女性人口が現在より半減する市町、県内で8市町の中に入っているところでございます。このことにつきましては今議会においても議論をさせていただきましたが、町といたしましてはこのまま放置すればこうなるという警告と受けとめ、今後は人口問題を核としたところであらゆる対策を講じてまいりたいと考えているところでございます。既に着手をいたしております第2次白石町総合計画策定におきましても町議会の皆さんを初め町民各層の御意見を伺いながらの策定になっていくものと思っております。

次に、気象のことについてでございますけれども、今月2日に梅雨入りして2週間がたつわけでございますが、現在まで2ミリの雨しか降っておりません。そのような中でございますが、おかげさまで嘉瀬川ダムからの用水で町内の田植えは順調に始まっており、ダム貯水量も十分のようでございます。昨年1年間で約1,000万トンの用水が来ておりますけれども、4月からこれまでに既に200万トンの水が来ている状況でございます。しかし、ことしは5年ぶりのエルニーニョ現象といったことから、今後どのような気象状況になっていくのかは不透明でございます。よって、今後の梅雨から台風にかけての気象情報に十分に注意し、町民の安全・安心確保のために地域住民の方々と行政が一体となり、かつ連携して防災対策にも対応していく所存でございます。このことにつきましても議員の皆様方に御指導、御支援を賜りますようお願いをいたします。

簡単でございますが、今議会での原案どおり可決いただきましたことに対するお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○白武 悟議長

これもちまして平成26年第4回白石町議会6月定例会を閉会いたします。

9時48分 閉会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成26年6月17日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 大 串 弘 昭

署 名 議 員 内 野 さよ子

事 務 局 長 鶴 崎 俊 昭